

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和 4 年 1 月 14 日

協議会名:	土佐清水市地域公共交通協議会
評価対象事業名:	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>土佐清水市は、四国の最西端に位置し、首都圏から最も時間的距離の遠い市と言われている。人口は、ピーク時の昭和33年には33,000人を超えていたが、令和2年度の国勢調査における人口は12,388人にまで減少している。高齢化・人口減少が進むとともに運転免許証返納者が増加傾向にあるため、地域住民の移動手段の確保が課題となっている。このことから、交通空白地域の解消や、買い物、通院等のための公共交通を維持・確保することを目的として、デマンド交通を運行している。</p> <p>今後、ますます高齢者の運転免許証の返納が進むことが予測されており、市街地へさまざまな機能が集約される中、移動手段を持たない交通弱者にとって公共交通は、生活を維持するうえで必要不可欠なものとなっている。引き続き、移動手段としての公共交通を維持・確保していくために、不断の見直しを行い、利便性の向上に努めていく。</p>